

『普及』こそ第一条件

— 少年サッカーを考える —

編集委員長 辻 豊



昭和51年度神戸市スポーツ少年団サッカーリーグの参加は57チーム。1,000 余名の少年少女がボールを追っている。また、神戸少年サッカースクールの生徒数は優に 500 名を越

す大所帯となった。さらに姫路、三木、竜野、西宮、尼崎等の少年サッカー活動も盛んであるが、これらを見てすぐに、わが兵庫県少年サッカーが全国レベルの上位にあると判断することは、許されない多くの問題が残されている。

たしかに神戸市をはじめとして、上述のそれぞれの地域は、サッカーの町として自他共に認める清水市や藤枝市の少年サッカー熱に比してその色はないが、県全体を俯瞰（ふかん）した場合の少年サッカーの普及率は、遺憾ながら満足できるとは言えない。

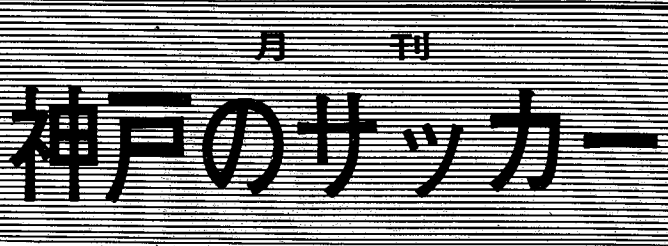
そこで、もう一度なぜ少年サッカーをやらせるのか、という原点に立ち返って考えてみる必要がある。異口同音にこんな答えが出てくる。いわゆる「兵庫県のサッカーを強くし、ひいては日本のサッカーを世界のレベルまで押し上げるためだ」と。

ではその目標達成に「何を、どのようにすればよいか」を真剣に考えてみよう。私は今の日本の少年サッカーの指導の流れに触れるとき、「なぜ、おとなたちは少年の健やかな成長を、気ながに待てないのだろうか」と思うのである。

それは、正しい目的を見失った少年の対抗試合が多すぎるからだ。少年日本一や、中学日本一あるいは高校日本一になることが、将来の日本サッカーのためにどれほどの意味があるのか。ボールを持つな、当たれ、走れと絶叫する監督やコーチの声に接する度に、この指導者たちの目標が少年プレーヤーの将来への希望ではなく、低次元における自己満足の所作ではなからうかと悲しくなる。レフェリーの目を避けてしばしば行われるラブラーで、勝つためには手段を選ばない低いレベルの勝利が、少年を犠牲にした監督のマスターベーションでなくて、何なのであろうか。

私はこの10年間、日本各地の多くの少年サッカーの指導者の面識を持った。当時の指導者たちはおしなべてその地域のサッカーの普及と定着に情熱を燃やしておられた。たしかに10年を経た今日、サッカー熱は当時と比較すべくもなく隆盛になったと思うが、少年サッカーは常に普及させることが第一という所期の目標は、永遠不変の課題であって、それには修了とか卒業とかの言葉は存在しえないと考えるが、いかがなものであろうか。

「少年」とは「普及」と同義語であることをあえて提言する。妄言多謝。



1976 7 月号
発行所
神戸市サッカー協会
神戸市灘区上野通6丁目3-12
TEL (078) 861-3838
発行人 加藤正信
編集人 辻 豊
購読料 1部 20円
毎月1回 10日発行

110分の死闘の末、PKで決まる
全国大会へは長田(初)
長田、神戸分く
総合体育大会
兵庫県高校



初優勝をとげた長田校サッカー部（左端が萩野部長）

全国大会への出場を決めるためPK戦が行われたが、これも大激戦。8人目ようやく勝負がつき、勝利の女神は長田にほほえんだ。

長田の根性が実を結ぶ

長田は新人県大会でベスト8になるなど安定した力をもっていたが、これまで準決勝の壁が厚く、上位進出は永年の悲願だった。それが今年は一挙に決勝まで進み、しかも大試合にも実力を出しきれるまでにたくましく成長した。チームの中心となる鍵野、大村、林は一昨年、神戸市中学チームの一員として中国・天津へ派遣され、将来を期待されてきた。また、長田は三中時代からの卒業生が各界で活躍しており、時間をみつめてチームのめんどろをみたOBの陰の力も見逃せない。

全国大会への出場は断たれたものの、県大会で3年ぶり8度目の優勝をとげた神戸にとって、日本ユース代表に選ばれた桜木の欠場は痛かった。しかし、林、柴田、千葉、厚田らに著しい成長のあとが見られ、実力的にはもちろん長田に劣るものではない。

分かれるが、その過程では勝利を引き寄せるほどの強い意志を働かせなければ、個人の進歩はありえないし、また見ている人に感動を与えることはできない。「自分の能力にプラスアルファをかけて戦う」「当たって砕ける」といったプレーが、試合の随所にもっと見られてよい。その結果、たとえ運が悪くて「立派な敗北者」となっても、次の試合に一層固い決意が生まれるのである。

選手はもっとルールを勉強し、指導者も単にグラウンド上のコーチだけでなく、「ルールの精神」を選手に教え込んでほしい。激しい



準決勝 神戸-武庫工（6月6日、神戸中央）

接触プレーを切り抜けた時、あるいは最高の緊張感のもとで好プレーが生まれる。きわどいプレーがあっても「抜け、前に絶好のパスコースがある」という判断で、審判がアドバンテージを適用しようとした時、力強く振り切れる選手と保護の笛を求める者との差は、そのままチーム力にまで影響する。

試合会場としてグラウンドを提供する学校は、相変わらず迷惑を受けている。ごみの後かたづけにしても毎年、指摘されている問題である。参加チームのモラルがいっこうに向上しないのはなぜだろう。(ツ)

萩野清・長田高サッカー部部長の話

優勝よりもベスト8の壁が破れたことの方が、正直いってうれしい。くじ運にも恵まれたが、選手の気持ちがかまわりて、コンディションやゲーム展開は満足できるものではなかった。残された一ヶ月間に選手、OB、私どもが一体となって、兵庫代表としてはずかしくないよう練習をやり直す。これを機会に、長田も大いに飛躍したい。

兵庫県高校総合体育大会兼全国高校総合体育大会は、5月8日から6月7日まで県下各地の会場で行われ、長田と神戸が優勝を分けた。長田は試合ごとに力をつけ、準決勝で洲本実を下したあと決勝では神戸との対戦になった。神戸優勢の予想に奮起した長田イレブンは、立ちあがりから気力に満ちたプレーを展開した。神戸の分厚い攻撃に守勢に追いやりながらも、長田はGK鍵野らががんばり70分を終えて1対1の同点。延長に入ったがともに得点を重ねることができず、再度延長で戦っても相譲らず両者優勝となった。その後、

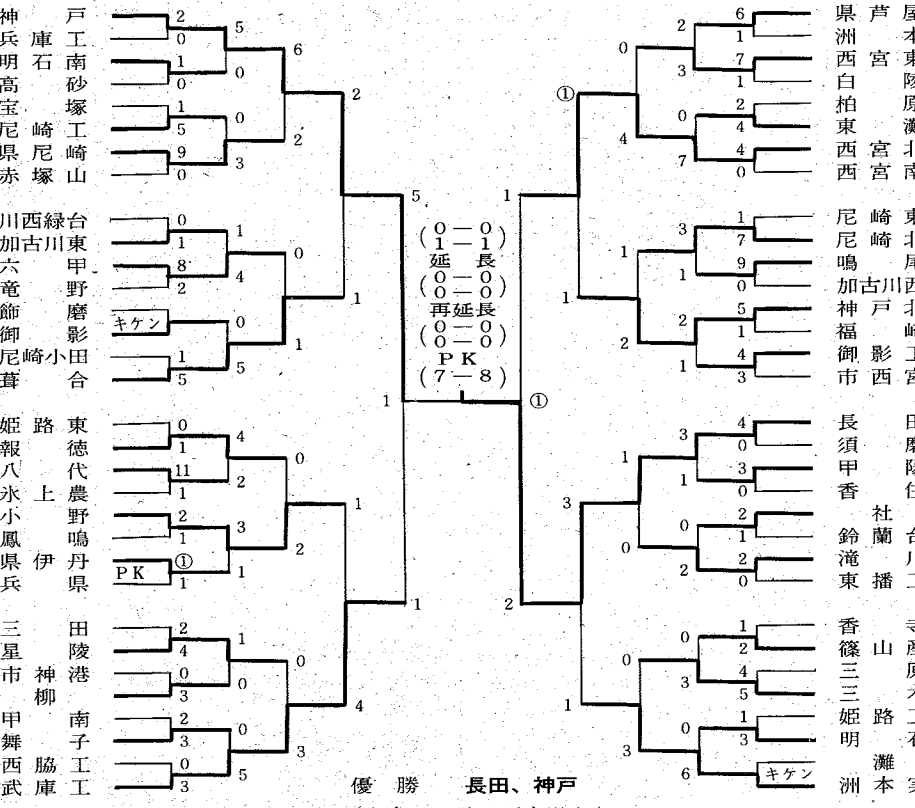
釜山市代表 日韓親善試合
チーム来神

大韓民国（韓国）から釜山市の高校生と大学生の混成チームが来神し、神戸中央球技場で試合を行います。今年の4月に兵庫県高校代表チームが釜山市に遠征し、友好親善の成果をあげましたが、今回の交歓試合はその時に約束した再会のチャンスが実現したものです。どうか日韓両国の若人によるすばらしいプレーにご期待ください。試合は涼しいナイターで行われます。

8月11日（水）
兵庫県高校代表一釜山市代表
8月12日（木）
兵庫県社会一釜山市代表
人（青年）代表
いづれも午後6時30分キックオフ
入場料 一般 300円
中・高生 300円
小学生 無料
主催 兵庫サッカー協会

昭和51年度 兵庫県高校総合体育大会
兼 全国高校総合体育大会兵庫県予選結果
(2回戦以降)

5月8日-6月7日、神戸中央球技場ほか



優秀選手

鍵野剛一 (長田)	柴田裕介 (神戸)	森郁二 (神戸北)
林隆司 (長田)	吉山真治 (武庫工)	岸本健 (神戸北)
大村昭洋 (長田)	安堂輝 (武庫工)	阪本竜彦 (葺合)
林啓太 (神戸)	増沢明彦 (西宮北)	津下善幸 (小野)
神原吾朗 (神戸)	馬場勝也 (西宮北)	津村正壮 (洲本実)

はばたけ桜木 (神戸高)

日本ユース代表に選ばれる

神戸高3年の桜木浩二選手が日本ユース代表に選ばれ、ユーゴのリエカ市で開かれた国際ジュニア大会に参加した。これは今年2月に来日したリエカチームからの招待によるもので、代表21名の中で高校生は桜木を含めわずか4名。

桜木は昨秋の三重国体や今年の全国高校選手権大会で大活躍し、そのサッカーセンスのよさは各方面から高く評価されていた。兵庫から育つ久しぶりの逸材であり、伸び伸びと大きく成長する桜木選手を暖かく見守ってやりたい。

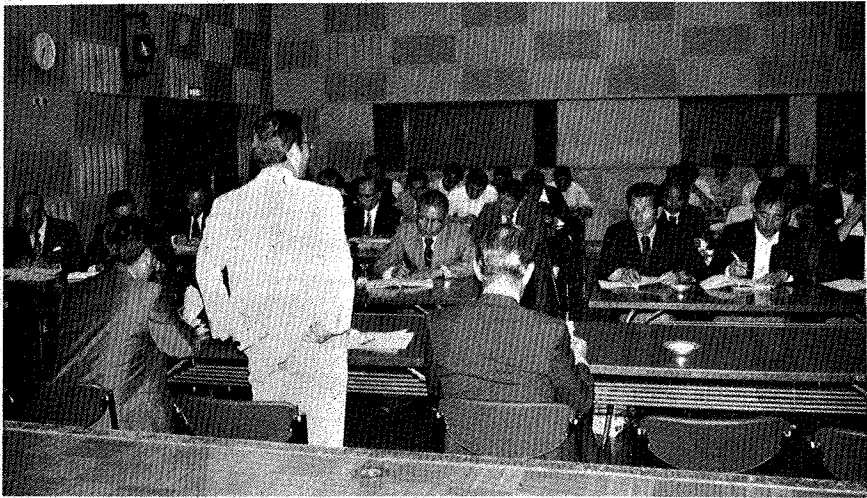


昭和51年度 神戸市民大会結果 (中学生の部)
(6月5、6日・鈴蘭台中ほか)

高倉	1	①優勝
神戸FCジュニア	0	①優勝
鷹匠	0	①優勝
鈴蘭	0	①優勝
魚崎	0	①優勝
西神	0	①優勝
神戸朝	0	①優勝

中央球技場だより

7月は試合ありません	
8月22日 (日) 日本リーグ2部	
ヤンマー・クワース通	16:30
田辺・読売	18:30
8月28日 (土) 日本リーグ1部	
ヤンマー・東洋	18:30 (未定)
9月5日 (日) 日本リーグ2部	
ヤンマー・クワース	16:30
田辺・読売	18:30
9月12日 (日) 日本リーグ1部	
ヤンマー・古河	16:30 (未定)
10月11日 (月) 日本リーグ1部	
ヤンマー・トヨタ	14:00 (未定)



51年度 理事・評議員会開く 兵庫協会

各支部の評議員が出席した
(5月22日、神戸国際会館)

底辺拡充と競技力の向上

兵庫協会は5月22日、神戸国際会館4階ホールで51年度理事・評議員会を開き、50年度事業報告、決算の承認をした後、51年度事業計画と予算を決めた。

昨年は国体少年の部で兵庫県代表が準優勝を獲得し、サッカー王国の名をほしいままにした“あの輝き時代”への復活のきざしが見え始め、またそれを支える大きな基盤となる小・中学生の試合も今や非常に盛んとなってきた。社会人についてみると、兵庫県から三菱重工神戸、新日鉄広畑、兵庫教員が関西リーグに参加しており、51年度前期終了の時点で3チームとも上位に食い込む良い成績をあげている。

このような背景を考えると、51年度は兵庫のサッカーが新しく飛躍するうえで、きわめて大切な年となる。少年委員長に西林恵三氏、技術委員長には岡村敬氏が新しく選ばれた。この両委員会をはじめとする各委員会の充実した活動が、県協会の発展の重要なかぎをにぎることになるが、兵庫のサッカーマン一人ひとりの積極的な参加意識と協力がぜひとも必要である。

兵庫協会役員

名誉会長	玉井 操
会長	砂田 重一
副会長	赤川 公一
副会長	瀬川 幸一
理事長	高砂 嘉雄
常務理事	吉江 昌治
	津村 寿男
	中村 北四郎
	前野 正彦
	浅堀 保彦
	高橋 敏雄
	岡村 敬数
	河野 二朗
	田島 裕治郎
	五島 幹夫
	西林 恵三
	松本 雅祐
	前本 勇二郎

(常務理事は順不同、太字は新任)

51年度 事業計画

【社会人委員会】	
天皇杯全日本選手権兵庫大会	4月4日～7月18日 (磯上球技場ほか)
兵庫県社会人リーグ	前期 4月25日～6月13日 後期 9月上旬～10月下旬 (神戸中央球技場ほか)
各地区社会人リーグ	5～12月 (各地区別自主運営)
兵庫選手権大会(兵庫カップ)	9月 (御崎グラウンドほか)
兵庫県社会人中央大会	8月1、8、15日 (大阪)
国民体育大会関西予選	10月3日～11月21日 (神戸、大阪ほか)
関西社会人トーナメント	11月中旬 入れ替え戦 12月中旬 (大阪)
第57回(52年度)天皇杯全日本選手権兵庫大会	
申し込み締め切り	1月1日
組み合わせ抽選会	1月 (神戸)
【高校委員会】	
兵庫県高校総合体育大会	5月8日
兼全国高校総合体育大会兵庫県予選	～6月7日 (神戸中央球技場ほか)
支部選抜対抗戦	6月19、20、26、27日
県選抜候補選手選考試合	7月4日
県選抜候補選手選考合宿	8月中旬
国民体育大会関西予選	8月28、29、30日 (大阪・うづぼ)
全国高校選手権兵庫大会組み合わせ抽選会	9月28日
県選抜選手合宿	10月16、17日
全国高校選手権兵庫大会	(神戸中央球技場ほか)
10月31日、11月3、6、7、13、14、20、21、23日	
高校新人戦支部大会および県大会	1月～2月27日 (神戸中央球技場ほか)
近畿高校選手権大会	3月26、27、28、29日 (神戸中央球技場)

【中学委員会】	
全国中学生大会支部予選	4～5月
全国中学生大会兵庫県予選	
兵庫県中学校総合体育大会地区予選	7月21～25日
兵庫県中学校総合体育大会	8月8、9日
全国中学生大会関西予選	7月31日、8月31日 (京都)
近畿中学校総合体育大会	8月23、24日
兵庫県中学校選手権大会支部予選	10月
兵庫県中学校選手権大会	11月
各地区中学校大会	2月

岩谷杯中学生大会		日程未定
【少年委員会】		
全国少年団大会兵庫県予選	7月25日～8月1日	予 定
兵庫県少年団サッカー大会(リーグ戦)		
【技術委員会】		
国民体育大会選考試合	7月中旬	
少年の部		
成人の部：一般、教員	6～7月	
国民体育大会関西予選		
少 年	8月下旬	
教 員	8月中旬	
一 般	8月1、8、15日	
兵庫県代表選手強化		
少年 第1次	7～8月	
第2次	9～10月	
一般、教員	7～8月	
指導者研修、講習会		
JFAリーダー養成講習会		
第1次 教員対象	8月下旬	
第2次 一般対象	11月～52年1月	
指導者研修会	8月～11月	
会 議	5、7、9、11、3月	
【審判委員会】		
支部審判養成講習会		
2級昇格検定、3級認定試験		
審判研修会	7月24、25日、3月6日	
審判委員会	6月19日、9月14日、11月13日 1月22日、2月26日	

活動開始

技術委員会



岡村 敬 技術委員長

兵庫協会技術委員会は6月6日、今年度第1回の会合を開いた。県協会の事業計画を推進する上で、最も中心的な役割を果たす委員会のひとつであり、新任の岡村敬委員長をはじめ各委員は精力的な活動を開始した。

- 委員会の構成(専門部会)
 - 【強化部会】 全兵庫代表の選考ならびに強化
 - 主 任 岡村 敬
 - 委 員 社会人(一般)：河北頼数、大谷輝彦、そのほか関西社会人リーグ所属チーム代表
 - 高 校(少年)：佃 幹夫、小和郁生、そのほか高校技術委員
- 【指導部会】 JFAリーダー養成講習会の開催と支部指導者養成講習会の開催および県下サッカー指導者の研修活動
- 主 任 一北四郎
- 委 員 五島祐治郎、清水宏幸、黒田和生、各支部技術委員長

- JFAリーダー養成講習会の開催予定
- 【教員、学生対象】 8月17、18、19、22、23、24日
- 【一般社会人対象】 11月23(開講式)、27、28日、12月4、5、11、12、18、19日、1月8、9日(開講式)
- 講習会の要項は後日発表する。

神戸市社会人リーグ運営会議日程 8月20日(金)

9月16日(木)	1月20日(木)
10月14日(木)	2月17日(木)
11月18日(木)	3月17日(木)
12月16日(木)	

神戸FC 首位で折返す

県社会人リーグ前期終了

兵庫県社会人リーグは6月13日、前期の日程を終え神戸FCがトップで折返した。

社会人の県リーグは3年ぶりに復活され、参加は昨年の社会人中央大会の上位7チーム(はじめは8チームの予定だったが、同大会で2位の兵庫教員が関西リーグに昇格したので今年は7チーム)。

川崎製鉄が開幕戦から快調に4連勝し独走かと思われたが、チーム内の乱れから神戸FCに破れ、最終戦でも古河金属に引き分けた。一方、神戸FCは第2節で川崎重工に1敗を喫したが、着実に勝ち点をあげ5勝1敗で首位の座を保った。3位に入った古河金属は試合運びがうまく、その健闘ぶりが光っている。これら3チームにやや水をあけられている下

位4チームは、夏場に練習を積み重ねれば、後期トップグループの争いに首をつっこむことはむずかしいようだ。神戸ライオンががんばっているものの、川重、三木、日触には昨年ほどの元気がない。

ただ、県リーグを広く全般的にみた場合、よく言えば実力伯仲だが実際にはどんぐりの背くらべといったところ。県社会人のトップリーグであるという自覚が各チームとも低いためか、試合の盛り上がりには欠けている。関西リーグをめざして、全選手が一体となつてがんばっているチームは少ない。なお、後期終了時の成績で上位3チームが、11月の関西トーナメント大会へ県代表として出場する。後期の日程は9月上旬から10月下旬の予定。

関西社会人リーグ戦前期成績

(4月4日～6月13日)

順位	チ ャ ム	大日 電線	三井 物産	大阪 教員	新鉄 日鉄	兵庫 教員	京都 府立	選大 近畿	和歌 山教員	近江 クラブ	勝 点	敗 点	勝	分	負	得 点	失 点
1	大 日 本 電 線		1-3	4-1	1-2	4-2	5-1	3-1	4-2	6-1	17	11	8	1	2	34	15
2	三 菱 重 工 神 戸	3-1		2-1	1-4	1-2	6-2	2-0	2-2	2-0	17	11	8	1	2	25	15
3	大 阪 教 員	1-4	1-2		0-2	2-2	3-1	0-7	1-0	13-0	10	11	4	2	5	26	25
4	新 日 鉄 広 畑	2-1	4-1	2-0		5-5	0-1	0-3	2-1	2-2	10	11	4	2	5	23	24
4	兵 庫 教 員	2-4	2-1	2-2	5-5		1-2	3-1	0-0	2-2	10	11	3	4	4	21	22
6	三 菱 重 工 京 都	1-5	2-6	1-3	1-0	2-1		1-0	3-0	1-1	10	10	4	2	4	16	21
7	電 々 近 畿	1-3	0-2	7-0	3-0	1-3	0-1		1-3	3-0	9	11	4	1	6	21	17
8	和 歌 山 教 員	2-4	2-2	0-1	1-2	0-0	0-3	3-1		2-2	7	10	1	5	4	13	18
9	近 江 ク ラ ブ	1-6	0-2	0-13	2-2	2-2	1-1	0-3	2-2		6	10	1	4	5	13	35

神戸、大阪、京都、名古屋、横浜が参加する五都市体育大会は7月16、17、18の3日間横浜で行われる。

この大会は、五都市の親ばくと市民の体育振興をはかる目的で開かれ、今年で27回を迎える。サッカーのほか17種目にわたって熱戦が繰り広げられる。昨年の神戸は、不本意な成績(サッカー)に終わっているが、今年は主力となる三菱神戸、兵庫教員の選手が好調なだけに、大いに期待したいところ。

▶監督 前野正 ▶主務 大谷輝彦 ▶審判員 藤田利明 ▶選手 尾崎泰三、河下正雄、堀江秀幸、板垣孝次、岡中正安、古賀正剛、松浦規雄(以上三菱神戸)、長岡康規、山本高史、関根繁(以上兵庫教員)、大竹輝雄、幸田卓己、尾関雄二(以上神戸FC)、竹上敦典、上田忠篤(以上川崎製鉄)、河崎司郎(スワロ-F C)。

兵庫県社会人リーグ前期成績表 (4月25日～6月13日)

順位	チ ャ ム	神戸FC	川崎製鉄	古河金属	ライオン	川崎重工	三木	日本触媒	勝	敗	分	負	得点	失点
1	神戸FC		2-0	5-1	4-0	0-1	2-0	1-0	10	14	2			
2	川崎製鉄	0-2		3-3	5-0	6-3	6-1	4-1	9	24	10			
3	古河金属	1-5	3-3		3-0	3-1	4-0	1-2	7	15	11			
4	ライオン	0-4	0-5	0-3		3-2	2-0	3-1	6	8	15			
5	川崎重工	1-0	3-6	1-3	2-3		1-1	3-0	5	11	13			
6	三木FC	0-2	1-6	0-4	0-2	1-1		1-0	3	3	15			
7	日本触媒	0-1	1-4	2-1	1-3	0-3	0-1		2	4	13			



日触姫路 - 三木FC (4月25日、神戸中央球技場)

◎ 本紙は次のスポーツ店にもあります。

関正スポーツ

生田区下山手通6丁目65 ☎ 078 (371) 0857
兵庫県庁 300 m西側

灘スポーツ

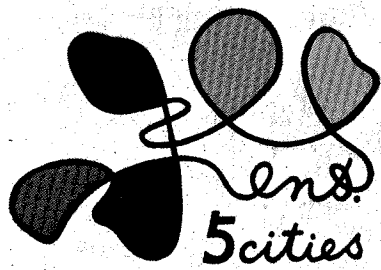
灘区倉石通5丁目1-8 ☎ 078 (861) 4671
市バス水道筋6丁目上る 100 m東側

ヤマダスポーツ

葦合区熊内橋通6丁目3 ☎ 078 (241) 9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎ 078 (576) 0870
バンドウ化学南



五大都市大会近づく
強力FW陣に期待